

技術資料

MC144A・MC144A/DとMC144B・MC144B/Dの機能的相違点について

<概要>

MC144A, MC144A/Dとその後継機であるMC144B, MC144B/Dは、機能的に上位互換ですが、一部の機能に違いがあります。

機能的相違点をご理解の上、正しくご使用下さい。

機能の詳細については、取扱説明書をご覧下さい。

<機能的相違点>

項目	相違点				備考
	MC144A, MC144A/D		MC144B, MC144B/D		
製造工程	鉛はんだ		鉛フリー		
電源電圧	ACタイプ	85~132V		85~132V	AC: 同一 DC: 上位互換
	DCタイプ	9~16V		9~30V	
使用温度範囲	0~50℃		-10~50℃		上位互換
EIA/TIA インターフェイス入力電圧	±20V		±25V		上位互換
受信レベル	-10~-40dBm		-10~-40dBm -4~-34dBm		ディップスイッチ設定 (DSW1-9)を変更
ディップスイッチ設定 (DSW1)	ビット	機能	ビット	機能	DSW1-9ビット の設定を変更
	8	コマンドリスト /ATコマンド	8	コマンドリスト /ATコマンド	
	9	専用線/公衆回線	9	受信レベル設定	
	10	4線式/2線式	10	4線式/2線式	
モジュージャック 接続端子(LINE)	機能		機能		MC144Aまたは MC144A/Dへ接 続していたモジュ ージャックは、そのま まMC144Bまたは MC144B/Dに接 続可能(*1)
	使用ピン		使用ピン		
	公衆回線		公衆回線	3-4 および 2-5(*1)	
	専用線2W		専用線2W	3-4 および 2-5(*1)	
専用線 4W	送信	2-5	専用線 4W	送信	3-4 および 2-5(*1)
	受信	1-6		受信	1-6
端末機器認証番号	AD00-0156JP		AD07-0119004		

*1: MC144Aでは未使用端子は短絡しても問題ありませんでしたが、MC144Bでは2番と3番、4番と5番の信号はそれぞれモデム内部で接続されていますので、未使用端子同士が短絡しないようにする必要があります。6Pのモジュラケーブルを使う時は、特に未使用端子の処理に注意が必要です。

例えばMC144Bの専用回線接続で2番と5番を使用する時は、未使用の3番と4番を短絡したり他の信号に接続したりすると、正常に通信できなくなりますので、ご注意下さい。

上記以外の通信機能、電気的仕様に差異はありません。

また、MC144A・MC144A/DとMC144B・MC144B/Dの相互接続性能に問題はありません。

以上。